

日時	令和8年3月23日(月) 10:00~12:00	場所	涼風荘ディールーム さんぽみち地域活動室 ※見学は全グループホーム
出席者	利用者様、利用者家族様、自治会長(地域の関係者)、 大学教諭(福祉に知見のある人)、 社会福祉課 職員(市町村担当者)、 グループホーム管理者、相談支援事業所 相談支援専門員	司会	管理者
		議事録	相談支援専門員

1. 開会

地域連携推進会議の主旨について配布資料を用いて管理者より説明

2. 自己紹介

各構成員(参加者)それぞれ自己紹介を実施

3. 施設見学

涼風荘 → 春風荘 → 西山荘 → グループホームさこし
質問をしていただきながら具体的な生活の状況について説明



4. 意見交換、質疑応答

【利用者様より】

- ・生活上の設備(冷蔵庫の容量や自炊用のフライパンの補充)についての希望がある
- ・複数人での生活により風呂掃除やゴミ捨て等を当番で行うので一人で行うよりも生活の上では楽にできて助かっている
- ・他のグループホームに行くことを希望していたが、このままおった方がいいよと言ってくれる人がいたので行くことをやめた。
- ・メンバー同士で相手のことを悪く行ったりする人が中におられるので見ていて歯がゆい気持ちになる
- ・パソコンが好きで1日2時間ぐらひは毎日打ったりしている

Q: WiFiはどうされていますか?

A: (利用者様) WiFi ルーターを差し込みで使用しています

(管理者) 個々の費用負担になりますが、契約してポケット WiFi を使用されている方もあります。

(管理者) GHによって生活は違っています。集団生活なので大枠のルールがあってそれを守ってもらう形をとっています。トラブルがあるとその都度注意も行いますが、障害特性上それを記憶できない方もあります。

【利用者家族様より】

- ・どこを見てもきれいに掃除をされていると感じました。
- ・家族が利用している以外のグループホームを見て、特にさこしは一人暮らしをするのにいいなと思ったので家族が入りたいと言ったら考えたいなと思いました。
- ・薬を飲んでいると安定して生活できるので今のグループホームではどうすれば薬を飲み続けられるかを考えてもらって、今は自宅に帰ってきている時も時間になったら内服することができています。

(管理者) 内服の支援を複数名行っています。忘れてしまう方や飲み過ぎてしまう心配のある方に声かけをして服用してもらったりします。個々の状態に合わせて内服の支援をしています。

24 時間体制のところもあります。当グループホームは職員が 21 時までで、眠前薬を確認してから業務を終えるようにしています。夜間は入居者のみで対応されています。

【大学教諭より】

・実習した学生から聞くことが多く、直接見る機会となってよかったです。病気や障害を持ちながら生活する上で家以外の選択肢としてグループホームの話を学生としますが、様々な住まい方を準備することが必要だとあらためて思いました。共同生活の難しさもある。その中でスタッフの対応の難しさも垣間見られて、その一方で安心感のある場所でもあり、生活する上で様々な要素があると感じました。

Q： 夜間の緊急時の対応をどうされていますか？

A： （管理者）緊急時は利用やから赤穂仁泉病院に電話をしてもらっています。事務当直者や当直医がおり、対応しています。火災の時は涼風荘・春風荘は自動通報できる設備になっています。消防訓練時に練習してもらっています。避難経路、移動方法の確認を火災・地震・水害それぞれを想定して年 2 回訓練を実施しています

Q： 意見箱が置いてありましたが、どんな投書がありますか？

A： （管理者）リクエストが入っていることもあれば最近はありませんが、職員の態度について書かれていることもあり。コロナを機に行事がなくなってしまい、花見やカラオケがしたいという要望を入れて下さり、感染症の流行がない時期に簡単なおやつ会をここ最近 2 回ぐらい実施しています

また年 1 回、満足度調査を実施しています

➔ 結果を受けて利用者を含めて話し合う場があるといいと思います。意見の言える場や手段があることが大事だと思いました

【自治会長】

・利用者の方に自治会活動へ参加してもらって、秋の獅子舞、夏祭りの盆踊り、とんど等に来てもらっています。地域の人もそれが当たり前になっていて、それは病院の開院当時の考えもあると思いますが、今日の会議に参加してみて利用者の方が自然な形でそれぞれのペースで生活できる土台があるからだと思います。病院の開院当時は盆踊りや運動会に地域から参加していて、こどもの時は楽しみにしていました。

・話を聞いてグループホームの中でもいろいろあるが、社会に出てもあるトラブルを経験できる場になっていると思いました。利用の希望は多いと思いますが、受け皿として応えられるように世の中全体もなっているといいと思います。

その他自治会活動の現状や難しさなども教えていただきました。

（管理者）グループホームとしては行事に参加させてもらうだけでなく、次年度目標として地域の清掃作業等の活動に参加していくことを挙げています。

【社会福祉課 職員】

・ここのグループホームはいい意味でアットホームだと思います。地域からの理解があること、病院が近くにあり、安心であることも強みだと思います。国は長期入院を減らす方向で進んでおり、そのためにも中間的になるグループホームに退院し、その後在宅へという流れもあります。グループホームのニーズは多いで

すが、不足していると行政としても感じています。中間的になるグループホームの役割は大きいと思います。ここのグループホームは温かさ、住みやすさを感じました。

・地域行事への参加やいい意味で地域の理解を得られていることが感じられました。

5. 今後に向けて

・初回の会議実施としてはこの内容でよかったです。利用者から直接話が聞けたのもよかったです。

・利用者の方にいろんな人が見ている、わかってもらえるという風に思ってもらえるといいと思いました。

・高齢者施設の会議では行事報告（施設新聞）を配布されていました。個人情報にあたらぬ範囲で利用者構成をまとめたものが配布されたりします。

・高齢分野では地域行事の参加、避難訓練を一緒に行う等の取組もなされているところがあります。



地域連携推進会議の実施が義務化になり始めて実施しました。実施してみると、参加の方から質問があり振り返ることが出来た事柄があったり、GHが所属している自治会の現状や自治会活動の大変さを知ることが出来、今後協力できることがあるのでは？と思えたり、頂いた言葉で励まされたり、利用者の生活、支援内容がより良くなる方法を教えていただいたりと、とてもありがたい、充実した会議となりました。ありがとうございました。